

宗内寺院紹介 **32**金剛山
照明院

常楽寺



1



3



2



5



4

①本堂 ②北向観音堂 ③温泉薬師瑠璃殿 ④多宝塔 ⑤かつらの木

常楽寺は北向観音の本坊であり、本尊は妙觀察智弥陀如来であります。常楽寺は北向観音堂が建立された天長二年（八二五）「三楽寺」の一寺として建立されました。本堂裏の北向観音の霊像が出現した場所には、弘長二年（一一六二）の刻銘のある重要文化財の石造多宝塔があります。観音菩薩は北向観音にある霊木かつらの樹より「北斗星が世界の依怙となるよう我も又一切衆生のために常に依怙となつて済度をなさん」というお告げがあり、北向きに建立された全国でも珍しい観音堂です。

厄除観音として南面する善光寺に詣で、「未来往生」北向観音にて参詣し、「前代利益」をしなければ片詣りとされている霊場です。

なお毎年二月三日は節分追儺式が行われています。常楽寺より北向観音堂までの沿道で待つ人々に福を授けながらお祈りをして行きます。昨年、百周年を迎え盛大に執り行われました。

金剛山
照明院 常楽寺

住 所 / 〒386-1431 長野県上田市別所温泉2347

電話番号 / 0268-37-1234